

2011年度

科目名	ドイツ語 I (コミュニケーション)		
担当教員	伊東 史明		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	23004
開期	通年	講時	火曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	ドイツ語の基本構造及びドイツの生活文化とコミュニケーション。		
目的と概要	ドイツ語の基礎を学習していきながら、ドイツの社会・風俗・生活習慣の説明を行い、彼我の文化の相違について考えていきたい。1年間で簡単な買い物などのコミュニケーションもできるようにする予定。また基本的な文章構造を把握し、簡単な文章を理解したり、発言できるようにする。		
成績評価法	定期試験70%、平常点(授業時の発表点)+小テスト30%		
テキスト	「ドイツ語インフォメーション」/秋田静男他/朝日出版社		
参考書	辞書については1回目の講義時に説明する。		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	テキストの1～3課はもっとも基礎的な部分であり、ドイツ語を形作る根本である。ここで決して遅れをとらないように。予習は必須。毎回当てて発表点を取るの、予習してこないものは出席と認めないから心しておくこと。しかし何よりも楽しく学ぶことが大事である。これまで知らない文化や街を知る楽しみを見出して欲しい。授業には独和辞書必携。 語学の授業は一段一段階段を上るようなものである。欠席しないことが大切である。なお欠席が5回になった時点で名簿から消去するので注意のこと。		
講義計画			
<p>前期</p> <p>第1回 ドイツの現状・ドイツ語の欧州語としての文化的位置</p> <p>第2回 発音 1</p> <p>第3回 発音 2 数字 挨拶</p> <p>第4回 L1: 動詞の現在人称変化 1</p> <p>第5回 動詞の現在人称変化 2</p> <p>第6回 L2: 名詞の格。seinとhaben</p> <p>第7回 語順と疑問文 「ドイツの大学」</p> <p>第8回 L3: 定冠詞 1</p> <p>第9回 定冠詞 2</p> <p>第10回 L4: 不定冠詞</p> <p>第11回 冠詞類 「バーデン・バーデン」</p> <p>第12回 L5: 不規則動詞</p> <p>第13回 L6: 人称代名詞 「アイスカフェー」</p> <p>第14回 非人称動詞</p> <p>第15回 総まとめ</p> <p>後期</p> <p>第1回 冠詞、動詞の復習 L7: 前置詞 1</p> <p>第2回 前置詞 2 「ドイツの街と旅行」</p> <p>第3回 L8: 話法の助動詞 1</p> <p>第4回 話法の助動詞 2</p> <p>第5回 話法の助動詞 3 「ユーロ」</p> <p>第6回 L9: 分離・非分離動詞</p> <p>第7回 命令形、時刻形容詞の格変化 「飲食文化」</p> <p>第8回 L10: 形容詞の比較変化</p> <p>第9回 再帰動詞 「ドイツのクリスマス」</p> <p>第10回 L11: 過去形 1</p> <p>第11回 過去形 2、副文</p> <p>第12回 L12: 過去分詞の作り方</p> <p>第13回 完了形 1</p> <p>第14回 完了形 2 「映画」</p> <p>第15回 総まとめ</p>			